

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステラ南森町校	
○保護者評価実施期間	2025年11月1日	～ 2025年11月17日
○保護者評価有効回答数	対象者数 27名	回答者数 26名
○従業者評価実施期間	2025年11月1日	～ 2025年11月19日
○従業者評価有効回答数	対象者数 9名	回答者数 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月22日	

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員と子ども1対1のマンツーマンで療育を行うことで、本児に合わせた内容で支援できる。	本児の特性や発達段階を把握し、ニーズに沿った個別支援計画を作成している。個々に合わせて教材・教具の工夫や環境設定を実施している。	集団における様子や家庭内の様子などの情報を得て、多面的に本児の実態を捉えて支援に反映させていく。
2	支援中の様子を保護者は別室にてモニターで観察することができ、支援内容等を理解していただける。	支援中に、保護者に対して、課題の意図や家庭生活内でできる取り組みを説明している。家庭や園生活の様子をヒアリングし、困りごとの対応を一緒に考えたり提案したりしている。	安心して相談していただけるよう、他の保護者に相談内容が聞かれないような環境設定を行う。
3	保護者の希望に沿って、園などの関係機関との連携を図っている。	園生活での困りごと(本児・園)に対して、園訪問を行い情報共有や実態把握をしている。就園や就学に向けての相談を受け付け、必要に応じて申し送り書等による引継ぎを行っている。	様々な園に対して支援内容や取り組みの啓発活動をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	個別での支援が主なため、集団での様子が把握しにくい。	集団での様子についての情報として保護者からの聞き取りが主になっている。	要望に合わせて、園訪問等を行い情報の収集や共有を図っていく。
2	利用者同士、保護者同士の交流の機会が少ない。	個別に特化しているために、支援者と保護者間の相談できる環境は整っているが、子ども同士、保護者同士での交流の場を設けていない。	個人情報の取り扱いには配慮しつつ、保護者同士の繋がりを求めている方は話をしやすい雰囲気作りをしていく。
3			